

お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心) 愛称：資産の方舟

運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2022年9月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）」は、2022年9月12日に第3期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2019年12月16日）	
運用方針	「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」の運用方針です。 ①主として世界の市場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	
組入制限	ベビーファンド	①市場投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①市場投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>



東京都千代田区紀尾井町1丁目3番

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
(設定日) 2019年12月16日	円 10,000	円 —		% —	% —	百万円 3,590
1期(2020年9月10日)	10,459	0		4.6	98.9	11,536
2期(2021年9月10日)	12,008	0		14.8	100.0	26,187
3期(2022年9月12日)	15,098	0		25.7	100.5	17,922

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2021年9月10日	円 12,008		% —	% 100.0
9月末	11,919	△	0.7	100.1
10月末	12,805		6.6	100.5
11月末	12,372		3.0	100.5
12月末	12,754		6.2	100.2
2022年1月末	12,706		5.8	100.5
2月末	13,198		9.9	100.5
3月末	14,447		20.3	99.8
4月末	14,436		20.2	99.3
5月末	14,714		22.5	101.6
6月末	14,422		20.1	99.8
7月末	14,129		17.7	100.0
8月末	14,564		21.3	100.6
(期 末) 2022年9月12日	15,098		25.7	100.5

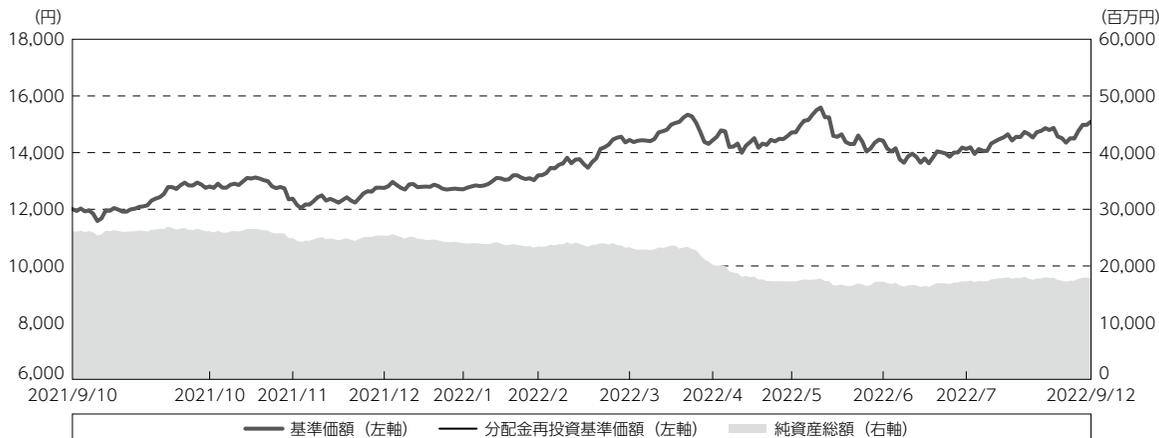
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2021年9月11日～2022年9月12日）

期中の基準価額等の推移



期首：12,008円

期末：15,098円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：25.7%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年9月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、25.7%上昇しました。

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期は、日本と米国の金利差が拡大したことなどにより、前期末から対円で米ドルが30%程度上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動が基準価額にプラスの影響をもたらしました。エネルギーおよび天然資源関連株式は、金利上昇による景気減速懸念などから軟調に推移する局面もありましたが、通期では米ドルベースで上昇し、基準価額に大きくプラスの寄与となりました。金などの貴金属と世界不動産は米ドルベースでは下落しましたが、為替の効果で円ベースではプラスの寄与となっています。その一方で、日本のREITが若干のマイナス要因となりました。

投資環境

世界の現物資産市場は、期初から2022年1月中旬ごろにかけて、インフレ長期化の見通しが強まり欧米の主要中央銀行がそれまでの金融緩和策を縮小する姿勢を明確にするなかで、新型コロナウイルス変異種（オミクロン株）の感染動向などにも注意を払う状況となり、方向感に欠ける展開となりました。その後、ロシアがウクライナに侵攻すると、ロシアへの経済制裁による需給悪化見通しなどから天然資源価格が上昇しました。エネルギー関連株式は、欧米において金融引き締めが加速したことによる世界景気の減速懸念が広がったことや、中国で新型コロナウイルス感染拡大を受けて一部の都市が封鎖（ロックダウン）されたことなどから下落する局面もありましたが、ウクライナでの戦争が予想以上に長期化したことによる原油や天然ガスなどの供給不足を背景に通期では上昇しました。

金などの貴金属は当該戦争が始まった2月後半から3月上旬にかけて上昇しましたが、その後は金利の上昇やドル高などを受けて下落しました。

世界の不動産市場も、金利の上昇と景気減速懸念などから特に期の後半は下落傾向となりました。日本のREIT市場は不安定な推移ながら期を通してみるとほぼ横ばいとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムに従って配分を変更しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第3期
	2021年9月11日～ 2022年9月12日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,097

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、世界株式急落時の下落抑制効果を最大化する資産配分アルゴリズムを用いて主として世界の実物資産ETFに投資することで、インフレーションから資産を守るだけでなく、長期的な配当も享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年9月11日～2022年9月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	225	1.659	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(111)	(0.818)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(111)	(0.818)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.035	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(5)	(0.035)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	7	0.049	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(3)	(0.027)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	237	1.744	
期中の平均基準価額は、13,538円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

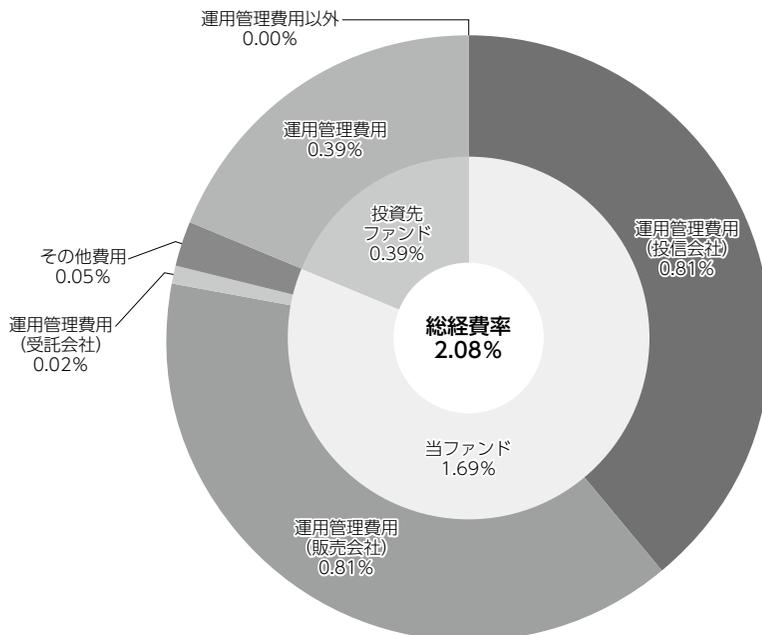
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	2.08
①当ファンドの費用の比率	1.69
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月11日～2022年9月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千口	千円	千口	千円
	1,626,028	2,364,293	11,472,905	16,379,927

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月11日～2022年9月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年9月11日～2022年9月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年9月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千口	千口	千円
	21,216,076	11,369,200	17,922,406

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年9月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千円	%
	17,922,406	97.7
コール・ローン等、その他	425,054	2.3
投資信託財産総額	18,347,460	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）において、当期末における外貨建純資産（17,255,356千円）の投資信託財産総額（18,106,440千円）に対する比率は95.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.82円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年9月12日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,347,460,104
コール・ローン等	241,125,232
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）（評価額）	17,922,406,938
未収入金	183,927,934
(B) 負債	425,048,989
未払解約金	261,300,758
未払信託報酬	160,447,935
その他未払費用	3,300,296
(C) 純資産総額（A－B）	17,922,411,115
元本	11,871,037,310
次期繰越損益金	6,051,373,805
(D) 受益権総口数	11,871,037,310口
1万口当たり基準価額（C/D）	15,098円

(注) 当ファンドの期首元本額は21,807,608,291円、期中追加設定元本額は8,666,435,733円、期中一部解約元本額は18,603,006,714円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.5098円です。

○損益の状況（2021年9月11日～2022年9月12日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	2,863,797,360
売買益	5,050,350,774
売買損	△2,186,553,414
(B) 信託報酬等	△ 373,267,822
(C) 当期損益金（A＋B）	2,490,529,538
(D) 前期繰越損益金	789,409,029
(E) 追加信託差損益金	2,771,435,238
（配当等相当額）	（ 1,108,842,826）
（売買損益相当額）	（ 1,662,592,412）
(F) 計（C＋D＋E）	6,051,373,805
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	6,051,373,805
追加信託差損益金	2,771,435,238
（配当等相当額）	（ 1,127,621,812）
（売買損益相当額）	（ 1,643,813,426）
分配準備積立金	3,279,938,567

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（223,447,990円）、費用控除後の有価証券等損益額（2,267,081,548円）、信託約款に規定する収益調整金（2,771,435,238円）および分配準備積立金（789,409,029円）より分配対象収益は6,051,373,805円（1万口当たり5,097円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

お金のデザイン・グローバル・ リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

運用報告書

第3期（決算日 2022年9月12日）
（2021年9月11日～2022年9月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2019年12月16日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	証 組 入 比 率 総
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2019年12月16日	10,000		—		3,590
1期(2020年9月10日)	10,579		5.8	98.9	11,536
2期(2021年9月10日)	12,343		16.7	100.0	26,186
3期(2022年9月12日)	15,764		27.7	100.5	17,922

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	証 組 入 比 率 総
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2021年9月10日	12,343		—		100.0
9月末	12,262		△ 0.7		100.0
10月末	13,190		6.9		100.3
11月末	12,764		3.4		100.1
12月末	13,174		6.7		99.7
2022年1月末	13,144		6.5		99.8
2月末	13,666		10.7		99.6
3月末	14,976		21.3		99.7
4月末	14,983		21.4		99.0
5月末	15,292		23.9		101.1
6月末	15,009		21.6		99.2
7月末	14,724		19.3		99.3
8月末	15,197		23.1		99.7
(期 末)					
2022年9月12日	15,764		27.7		100.5

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年9月11日～2022年9月12日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、27.7%上昇しました。

当期は、日本と米国の金利差が拡大したことなどにより、前期末から対円で米ドルが30%程度上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動が基準価額にプラスの影響をもたらしました。エネルギーおよび天然資源関連株式は、金利上昇による景気減速懸念などから軟調に推移する局面もありましたが、通期では米ドルベースで上昇し、基準価額に大きくプラスの寄与となりました。金などの貴金属と世界不動産は米ドルベースでは下落しましたが、為替の効果で円ベースではプラスの寄与となっています。その一方で、日本のREITが若干のマイナス要因となりました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の現物資産市場は、期初から2022年1月中旬ごろにかけて、インフレ長期化の見通しが強まり欧米の主要中央銀行がそれまでの金融緩和策を縮小する姿勢を明確にするなかで、新型コロナウイルス変異種（オミクロン株）の感染動向などにも注意を払う状況となり、方向感に欠ける展開となりました。その後、ロシアがウクライナに侵攻すると、ロシアへの経済制裁による需給悪化見通しなどから天然資源価格が上昇しました。エネルギー関連株式は、欧米において金融引き締めが加速したことによる世界景気の減速懸念が広がったことや、中国で新型コロナウイルス感染拡大を受けて一部の都市が封鎖（ロックダウン）されたことなどから下落する局面もありましたが、ウクライナでの戦争が予想以上に長期化したことによる原油や天然ガスなどの供給不足を背景に通期では上昇しました。

金などの貴金属は当該戦争が始まった2月後半から3月上旬にかけて上昇しましたが、その後は金利の上昇やドル高などを受けて下落しました。

世界の不動産市場も、金利の上昇と景気減速懸念などから特に期の後半は下落傾向となりました。日本のREIT市場は不安定な推移ながら期を通してみるとほぼ横ばいとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムに従って配分を変更しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、世界株式急落時の下落抑制効果を最大化する資産配分アルゴリズムを用いて主として世界の実物資産ETFに投資することで、インフレーションから資産を守るだけでなく、長期的な配当も享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2021年9月11日～2022年9月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5)	% 0.035 (0.035)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.019 (0.018) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	8	0.055	
期中の平均基準価額は、14,031円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月11日～2022年9月12日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	347,820	753,875	786,100	1,667,655
	iシェアーズ・コア Jリート ETF	195,086	404,879	423,981	862,014
合計		542,906	1,158,755	1,210,081	2,529,669
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	ABRDN PLATINUM ETF TRUST	180,420	15,832	187,859	17,379
	FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N	381,048	16,381	334,991	13,946
	FLEXSHARES STOXX GLOBAL BROA	13,595	754	114,525	6,403
	ISHARES GOLD TRUST	89,315	2,985	797,658	28,213
	ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	651,980	23,145	799,804	25,461
	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	16,655	791	218,444	10,555
	ISHARES SILVER TRUST	191,533	3,877	1,436,493	30,292
	ISHARES GLOBAL REIT ETF	85,921	2,376	584,087	16,578
	SPDR S&P GL NAT RESOURCES	149,134	8,518	121,317	6,895
VANECK AGRIBUSINESS ETF	149,486	13,896	359,645	34,784	
小計		1,909,087	88,560	4,954,823	190,511

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月11日～2022年9月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月12日現在)

国内投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	口 数	評 価 額	
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	670,850	口	232,570	千円	%
iシェアーズ・コア Jリート ETF	349,337	口	120,442	252,687	1.4
合 計	1,020,187	口	353,012	761,666	<4.2%>
	銘柄数<比率>	2	2	<4.2%>	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ABRDN PLATINUM ETF TRUST	335,628	328,189	26,806	3,828,501	21.4
FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N	378,602	424,659	17,984	2,568,518	14.3
FLEXSHARES STOXX GLOBAL BROA	142,971	42,041	2,214	316,246	1.8
ISHARES GOLD TRUST	1,483,058	774,715	25,240	3,604,807	20.1
ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	861,661	713,837	26,390	3,769,098	21.0
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	270,561	68,772	3,321	474,403	2.6
ISHARES SILVER TRUST	1,399,080	154,120	2,669	381,237	2.1
ISHARES GLOBAL REIT ETF	717,912	219,746	5,504	786,172	4.4
SPDR S&P GL NAT RESOURCES	135,379	163,196	9,039	1,291,010	7.2
VANECK AGRIBUSINESS ETF	227,371	17,212	1,587	226,770	1.3
合 計	5,952,223	2,906,487	120,758	17,246,767	<96.2%>
	銘柄数<比率>	10	10	<96.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2022年9月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	18,008,434	99.5
コール・ローン等、その他	98,006	0.5
投資信託財産総額	18,106,440	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（17,255,356千円）の投資信託財産総額（18,106,440千円）に対する比率は95.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.82円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年9月12日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,106,440,018
コール・ローン等	90,959,856
投資信託受益証券(評価額)	18,008,434,430
未取配当金	7,045,732
(B) 負債	183,927,934
未払解約金	183,927,934
(C) 純資産総額(A－B)	17,922,512,084
元本	11,369,200,037
次期繰越損益金	6,553,312,047
(D) 受益権総口数	11,369,200,037口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,764円

(注) 当ファンドの期首元本額は21,216,076,734円、期中追加設定元本額は1,626,028,723円、期中一部解約元本額は11,472,905,420円です。

(注) 2022年9月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の实物資産中心）
11,369,200,037円

(注) 1口当たり純資産額は1.5764円です。

○損益の状況（2021年9月11日～2022年9月12日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	361,764,561
受取配当金	361,764,561
(B) 有価証券売買損益	5,394,478,419
売買益	6,814,920,688
売買損	△1,420,442,269
(C) 保管費用等	△ 4,372,134
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,751,870,846
(E) 前期繰越損益金	4,970,198,247
(F) 追加信託差損益金	738,264,991
(G) 解約差損益金	△4,907,022,037
(H) 計(D+E+F+G)	6,553,312,047
次期繰越損益金(H)	6,553,312,047

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。